華ちりめん伊と錦
Timebank

・先日のイベント

前回のイベントでは、「綴れの帯」をご紹介させて頂きました。実際に御覧頂いたお客様は、お楽しみ頂けたでしょうか?ご来店くださいまして、誠にありがとうございました。

今回協力頂いたのは井筒屋さんという機屋さんです。聞くところによりますと、デパートの井筒屋さんとはご関係はないようですが、たまたま屋号が一緒なので、どこか親しみを感じてしまいます。綴れの歴史はとても古く、最も古いのは紀元前エジプトの時代のようです。日本にもその織物が伝わりますが、江戸時代中期の文献にやっと西陣の綴れに関する内容が記載されているそうです。そしてはじめて綴れ織りの「職人の名前」が出てくるんです。それが「井筒屋瀬平」という今回ご紹介した機屋さんのご先祖なんだそうです。

その系譜を継ぐ井筒屋さんの帯も、とても結び心地が良さそうな、とても良い帯です。ご注文頂いたお客様はぜひ楽しみに出来上がるのをお待ちいただけますようお願い致します。

遊びこころ　クリスマスの帯

・別注も受けてくれます

商品との出会いは一瞬です。「あの時あった、あの着物やあの帯」はその時に選ばなかったら、ほぼ百パーセント次に出会う事がありません。私もそうですが、お客様も同じ想いをしたことがある方も多いと思います。同じものを作ってくれるところが少ないのが実情です。

でも、井筒屋さんの綴れの帯は図案をお持ち頂けると、一から織って頂けるようです。なかには可愛いペットの写真を持ってこられるお客様や、自分だけのオリジナルの帯を作りたい方などもいらっしゃるようです。当然下絵の作成や料金のお見積もりを出してからの作業になりますが、普通は頼んだとしても一本だけを織ってもらえることはないので、特別なことと言えます。もしお客様の方で、「こんな柄の帯」が欲しい、作りたいという方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声をかけて下さい。綴れの帯で大変結び心地も良い帯が出来上がると思います。

・いい帯の三条件

井筒屋さんとお話していて勉強になったことがいくつもありました。その中でも、普段着の着物に結ぶ帯だからこそ、使い勝手の良いものがお気に入りの一つに入ることは間違いないと思います。そのポイントに「いい帯の三条件」があると教えてもらいました。

それは「一、柔らかい帯であること」「二、ざっくりしていること」「三、シワがのびること」これが三拍子全部揃っていると最高の帯です。

礼装用の帯は豪華絢爛な織物になっているので金箔や和紙の箔が使用されています。それは一度シワになったものは折り目がついて取れないのが宿命のようなものです。でも、普段身に着ける帯は、結び心地がよくないと、どこか気になってしまうもの。これからお選びになる帯もこの「いい帯の三条件」をひとつのポイントにされるのも良いかと思いますよ。ことわざで「餅は餅屋に聞け」とよく聞きますが、ほんとにそうですね。

電話 0836-34-2450　FAX 0836-34-2480　伊と錦

華ちりめん 伊と錦 ITOKIN

お花は見なかったことにしてください(汗)

・タペストリー型の花入れを作ってみました

わたしはお花を習っているのですが、お稽古はさぼってばかりの出来の良くない弟子です。先日のこと、お花の青年部の研究会がありまして、「お花のタペストリーを作ってみよう」に参加してきました。材料は、布・棒・接着芯と紐・木工用ボンド、それと花を生ける器です。身近な材料をつかっても良いというので、布をいろいろと探していました。うちは呉服店なので、何か帯や着物の生地があるやろうと、あちこちみていましたが、ありません。よく考えると余り布などは全部お客様にお渡ししているので端切れで長いものなどあるはずがないのです。さすがに反物を切る訳にもいかず、悩んでいたところ、祖母の古い着物が出てきました。見たところ綺麗ですが、随分と年代物なので所々生地が裂けそうな部分があります。仕立て直しても破れてしまいそうなので、紬と御召の生地を解いて洗って使うことにしました。手芸屋さんには何やら恥ずかしいので、妻に付き添ってもらって、接着芯の厚手を選んでもらって、紐も選び準備万端です。

タペストリーの大きさは自由ということで、着物の幅が約四〇センチ、縦はとっても長いので、比較的自由度が増します。もし自宅に飾るならと、寸法を思案していましたが、私の家はほとんど引き戸で壁が少ないんです。では細いものにするかと、掛け軸っぽいものを作ることに決定しました。

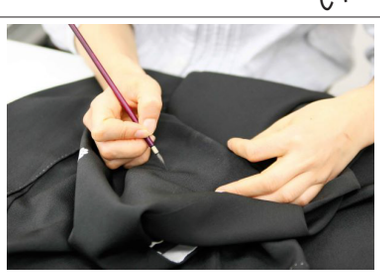
いざ作業開始。思った以上に簡単です。生地に接着芯で厚みを持たせて、器と土台になる生地の部分に穴をあけて、ワイヤーで固定で出来上がり。他の青年部の皆さんは、レースをつけたり、飾りを多くしたり、器も布で巻いたりと大作の模様。それに対してわたしのは、二種類の生地を組み合わせただけの超が付くほどシンプルな構造。簡単なだけに一番にできあがりました。我ながら、「いいバランス」と心のなかでニコニコしながら結構いいんじゃない思いながら、次は実際に花を生けてみます。

ここから自分の実力を忘れていた

器にはオアシスが入れてあります。小さなお花だったら、結構たくさん生けることができます。丈の短いものや長いもの自由自在です。他の方は洋花や細く長い葉物など、どちらかというと「可愛い」お花がよく似合います。ところが私の方は、掛け軸型ゆえに「侘び・寂び」系だったのです。作るときは楽しいなぁ、思いがけず簡単に早くできたなぁと思っておりましたが、お花を生ける段になってからは冷や汗です。「これは作ってはいけない物を作ってしまった」感がとてもありました。お花が多すぎてもバランスが良くないし、少なすぎると形がとれません。こういう場合は無駄なものは省いて残った「これだけは」というのを生けるのだと思いますが、こういうセンスが私の実力にはなかったのです。

言葉で表現する以上に難しいという事を実感しながら、先生に手直しをして頂いて、やっとカタチにすることができました。お花の先生やお茶の先生はこういう花入れでも、さっとセンスの良いお花を生けることができて本当に凄いなと思いました。今は伊と錦の店内で使っていますので、機会がありましたら温かい目で御覧下さい。

・きものお手入れ会&メイク講座



詳細は別紙をご覧ください

・十月の二十一日から店内にてお着物のお手入れ会です。キャンペーンもしておりますので、お着物のお手入れ等お気軽にご相談ください。この機会にぜひ点検してみて下さい。ワンポイントmake講座「まゆ編」もありますよ。

華ちりめん 伊と錦 ITOKIN
〒755-0015　山口県宇部市笹山町1-2-7
TEL.0836-34-2450　FAX.0836-34-2480